

高美小学校内 TM だより

R8.4.28.NO.2

6年2組の体育「鉄棒」の授業におじゃましました。

★ゴールを明確に★

朝学の時間を活用し、まずは、先生が実際に鉄棒の連続技にチャレンジする動画を見せることから始めておられました。いきなり「音楽に合わせて連続技をする」といわれると、難しそうな印象を受けますが、先生が実演されている動画では回転系の技がほとんど入っておらず、鉄棒が得意ではない子の目線に合わせてあったので、子どもたちはイメージをもちやすかったようです。加えて、「むずかしい技に挑戦すること」ではなく、「自分の連続技を動画で撮影し、見合いっこする」というゴールが示されており、子どもたちは見通しをもって学習に向かうことができていると感じました。

★単元計画とふりかえり★

朝学習の時間と授業の最初の時間を使って、ロイロノートを活用した「単元計画とふりかえりシート」についての確認がなされました。これまでも、単元計画を共有するというシーンは様々な教科で見られましたが、今回は単元計画に合わせてふりかえりを記入する欄も設けられていました。「計画」「めあて」「ふりかえり」を横並びにみるので、めあてを意識したふりかえりを行いやすいと感じました。さらに、ふりかえりの記入例とともに、視点が示されていました。子どもたちが「何をふりかえるとよいのか」意識することで、学習に取り組む姿勢も変わってくるのではないかと思います。

★練習タイム★

外では、パソコンや、技一覧の掲示を確認しながら、それぞれが自分に合った練習を行っていました。次回、技をつなげて練習することができるように、できる技にチェックをつけている姿や、すでに技の並びを意識しながら取り組む姿が見られました。単元計画やゴールを共有しているので、「何のために練習するのか」目的意識をもって練習することができ、主体性が高まっているように感じました。鈴木先生は、子どもたちの様子を見ながら、個別に指導をされていました。ふりかえりの時間には、記入例を参考にしながら今日の学びをふりかえる様子が見られました。「書けたからもう一回練習してもいい？」という前向きな声もあちこちから聞こえました。

～まとめ～

「目的意識をもつ」「単元計画を子どもたちと共有する」といった昨年度の研究が生かされた授業でした。動画などでゴールを具体化することで、子どもたちが見通しをもちやすくなると改めて感じました。さらにふりかえりでは「視点+例」をセットで示すことで、子どもたちは「今の自分の姿」を意識しながら学習に取り組んでいるようでした。積み重ねの中で、ふりかえりがどのように深まっていくのか、とても楽しみです。授業づくりに取り入れてみたくなる実践でした。鈴木先生、6年2組のみなさん、ありがとうございました。



鉄棒の連続技に挑戦！

◎単元のめあて

◎単元の計画とふりかえり

	計画	めあて	単元計画のふりかえり
①	4月28日		
②	5月5日		
③	5月12日		
④	5月19日		
⑤	5月26日		

ふりかえりの書き方

- ①まず、めあてを達成できたかどうかを書く。
- ②なぜ達成できたのか、または、なぜ達成できなかったのかを書く。
- ③次にがんばりたいことを書く。

◎めあてを達成できた場合の例

	めあて	単元計画のふりかえり
①	4月28日 掲げるときの姿勢に 気を付けて、ソフト ボールを強くまで投 げよう。	前回よりボールを強く投げられるよ うになりました。なぜなら、掲げるときの姿勢に気を付けて、ソフトボールを強くまで投げよう。

◎めあてを達成できなかった場合の例

	めあて	単元計画のふりかえり
①	4月28日 掲げるときの姿勢に 気を付けて、ソフト ボールを強くまで投 げよう。	あまり強く掲げることができませんでした。なぜなら、なぜなら、動きをあまりできていなかったからだと思います。次は、しっかりと動かしつけて投げたいです。

